



当院庭の小さな桜の木も桜が満開！春です！さて、もうご存知の方も多いと思いますが保育士の安武君が実家の農家を継ぐ為3月に退職しました。就職当時は声も小さかった彼ですが10年間男性保育士として活躍し、また家庭人としても6人の父として立派に成長しました。そんな彼の立ちと今後の挑戦にスタッフ一同エールを送ります。
院長 池澤 滋

感染症情報 2/25~3/24病名	前回	今回
アデノウイルス	15	10
溶連菌感染症	22	26
感染性胃腸炎	51	83
水痘(水ぼうそう)	2	4
手足口病	2	7
RSウイルス	4	7
突発性発疹	13	20
おたふくかぜ	0	1
ヒトメタニューモ	0	83
インフルエンザB	2	10
インフルエンザA	190	19

LINE@

日曜・休日当番医のお知らせ
休診のお知らせ、ワクチン入荷など、気になる情報をLINEでお届けします。お友だち登録をお願いします！
・LINEのID検索から

@rxi38470



住所：熊本県合志市野々島2461

(ユーパレス弁天 北側)

TEL：096-242-6633

診療時間：9:00～ / 14:00～18:00

休診日：木曜・土曜午後・日曜祝

URL：http://www.ikezawa.org/

WEB予約：http://ssc.doctorqube.com/ikezawa/



▲ホームページ



▲WEB予約

「頭を下げる」

大切なのはサポーター！！

この春、お子さんが入園、入学して、仕事を始めるお母さんもいらっしゃるのではないのでしょうか？まず、仕事を始めるうえで大切なのはなんといってもサポーター！！保育園という存在だけでは到底仕事を続けていくことは困難です。保育園の説明会でもよくお聞きになるとは思いますが、入園から半年はとにかく病気をもらいます！これは免疫を獲得していくためには避けて通れないもので、これまで家庭で守られていた赤ちゃんも、いきなり大勢のお友だちの中に入るわけですから、当然なのです。



基本的に、保育園、という場所は「仕事をしている家庭」が利用しています。その職種や環境で差があることは決して好ましくありませんが「今日は休めなかった」「朝だけはとにかく行かないと」「途中保育園からの電話で呼び出しなら帰れるが、朝から休むなんて会社にはとても言えない・・・」と忙しいお母さん達はよく話されます。病気を繰り返し、入院が重なりとうとう仕事を辞めたお母さんも何人もおられました。社会は女性が働きや

すい環境を目指しているのですが、現実はなかなか理想通りにはありません。私もそうですが、仕事を続けるために大切なのはなんといってもサポーターの存在。園に代わり迎えに行ってくれる人、実家の両親、嫁ぎ先のご両親、自分の兄弟、友人、ご近所さん、緊急時に頼れそうな人を徹底的にリストアップ(笑)してその方達に頭を下げて、お礼を言っ



て、お礼を言っ繰り返してどうにかやっていくしかないのです。これは仕事を始める人だけに関わらず、子どもの入院や緊急時も同じことですよ。私も独身の時は何もかも自分の思い通りで、さほど他人に頼らず生きてこれたのに、親になり、子どもを授かり世界は変わりました。突然の子どもの病気や入院やトラブル、情けない気持ちや思い通りに行かない苛立ち、親にならなければ味わうことのない経験をたくさんしてきましたが、振り返った時、子どもの成長が不思議なことにそれまでの苦労を全てをチャラにしてくれます！

今まさにこれから仕事を始める方、今は不安な気持ちも大きいと思いますが、周囲を巻き込みながら、子育て、更に自分の成長を楽しみましょう！そんな母を応援しています！



文責 池澤千恵子